コンテナやハンギングに、花壇の縁取りにも。

＜植物名＞

ヒポエステス

ｿﾊﾞｶｽｿｳ

総称

水やり

生育期間は2～3日おきに、冬は4～5日おきに1回水やりをする。

置き場所

夏は明るい半日陰に、冬は室内に置く。

用土肥料

特記事項なし。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

挿し木

冬越し

１０℃以上が望ましい。

使い方　鉢植え、ハンギングバスケット、花壇

学名　Hypoestes

英名

属名　ヒポエステス

科名　キツネノマゴ

性状（分類）常緑多年草

原産地　マダカスカルを中心とした熱帯地域

花の色　紅紫、白、淡ピンク

開花期　冬～春

購入時期

草丈　10～150cm

ID　184

季節　春 冬　　JFコード　14445

冬越しと置き場所

夏は明るい半日陰に、冬は室内に置く。冬越しには１０℃以上が望ましい。

その他の解説

生育旺盛のため、大きくなりすぎたら切り詰めて姿を整える必要がある。

特徴１

ヒポエステスには切花にも使えるきれいな花の咲く種類、斑は入らない濃緑色の葉を持つ種類、ソバカスのような斑入りの葉を持つ種類などがある。生育期間は2～3日おきに、冬は4～5日おきに1回水やりをする。

特徴2

マダカスカルを中心とした熱帯地域に約１５０種が分布するといわれる。濃緑色の葉に赤、白、ピンク色の斑が入るものはソバカスソウとも呼ばれている。切花にも使えるきれいな花の咲く種類、斑は入らない濃緑色の葉を持つ種類もある。コンテナやハンギングの面を埋めたり、花壇の縁取りに利用するとよい。